

令和5年10月19日

お知らせ

高 校 教 育 課	
担当者	職業指導班・指導班 田内・定金
電 話	内線4839、4846 086-226-7586

様々な分野で活躍した高校生が教育長への表敬訪問を行います！

2023 FAI ヤング・アーティスト・コンテスト（「2023 青少年航空宇宙絵画国際コンテスト」（国内予選））において県立岡山工業高等学校の生徒が世界1位を、令和5年使用交通安全ポスターデザイン募集において県立岡山工業高等学校の生徒が内閣総理大臣賞を、第30回全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山において県立笠岡工業高等学校の生徒が優勝を、日本生物学オリンピック2023において県立岡山大安寺中等教育学校の生徒が金賞を受賞したことから、県教育長への表敬訪問を次のとおり行いますので、お知らせします。

記

1 日 時 令和5年10月26日（木）16:30～17:15

2 会 場 岡山県庁西庁舎3階 教育長室

3 来 訪 者

【2023 FAI ヤング・アーティスト・コンテスト】

生 徒 永原 誠治（ながはら せいじ） 県立岡山工業高等学校デザイン科3年
引率者 文谷 元信（ぶんや もとのぶ） 校長
寺岡 征紀（てらおか まさき） 指導担当者

【令和5年使用交通安全ポスターデザイン募集】

生 徒 山口さくら（やまぐち さくら） 県立岡山工業高等学校デザイン科3年
※表彰当時（R5.3月）は2年
引率者 （上記と兼ねる）

【第30回全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山】

生 徒 三宅 斗和（みやけ とわ） 県立笠岡工業高等学校電気情報科2年
渋谷 樹（しぶや いつき） 県立笠岡工業高等学校電気情報科2年
引率者 佐々木 隆（ささき たかし） 校長
藤元 広明（ふじもと ひろあき） 指導担当者

【日本生物学オリンピック2023】

生 徒 進藤 慶太（しんどう けいた） 県立岡山大安寺中等教育学校6年
引率者 竹内 成長（たけうち しげのぶ） 校長
長坂 佳世（ながさか かよ） 指導担当者

4 訪問内容 (1) 訪問者紹介
(2) 各生徒の報告
(3) 教育長お祝いの言葉
(4) 歓談
(5) 記念写真撮影

<参考> 2023 FAI ヤング・アーティスト・コンテスト (「2023 青少年航空宇宙絵画国際コンテスト」(国内予選))	
主 催	国際航空連盟 (FAI)、日本航空協会
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・2023テーマ「空のスポーツと地球環境(原題:AIR SPORTS AND THE ENVIRONMENT)」で全国から334点の応募があった。 ・当該生徒の作品は、国内予選(青少年航空宇宙絵画国際コンテスト)において、14~17歳クラスの優秀賞を受賞した。 ・日本航空協会会長賞1作品(6~9歳クラスの作品が受賞)と各クラスの優秀賞8作品が日本代表としてスイス・ローザンヌの国際航空連盟(FAI)へ送付され、2023 FAI ヤング・アーティスト・コンテストの14~17歳クラスの世界1位を受賞した。
対 象	日本在住で、2005年~2016年生まれの者。 3クラス(6~9歳、10~13歳、14~17歳)に分けて審査される。

<参考> 令和5年使用交通安全ポスターデザイン募集	
主 催	一般財団法人全日本交通安全協会、毎日新聞社
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者は、一般部門A(運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの)、一般部門B(歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの)、子ども部門(子どもたちに交通安全を呼びかけるもの)の3部門のいずれかに応募する。それぞれの部門に対応するスローガンを原文のまま使用する。 ・令和5年使用交通安全ポスターデザインについては、2,279点の応募があり内閣総理大臣賞など各賞がそれぞれ3点ずつ(各部門1点)選ばれた。当該生徒は一般部門Bの内閣総理大臣賞を受賞した。 ・内閣総理大臣賞に選ばれた3点は、春の交通安全運動の啓発ポスターとして制作され、都道府県交通安全協会を通じて全国に掲示されている。
対 象	応募の制限なし ※子ども部門は中学生以下のみ

<参考> 第30回全国ソーラーラジコンカーコンテストin白山	
主 催	全国ソーラーラジコンカーコンテスト実行委員会 (構成団体/石川県、白山市、白山一里野温泉観光協会等)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・チームはドライバー1名とメカニック1名の選手2名で構成される。 ・大会規定のソーラーパネルを使用した生徒自作のソーラーラジコンカーで出場する。 ・「レース競技」と「審査競技」があり、レース競技は所定の時間内でコース周回数を競う。
対 象	全国の高等学校及び高等専門学校(1~3年生)の生徒(120チーム以内)
参 加 数	第30回大会の参加チーム数は68チーム(11県) 岡山県からの参加は3校11チーム

<参考> 日本生物学オリンピック 2023	
主 催	国際生物学オリンピック日本委員会、日本科学技術振興財団
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・国際生物学オリンピックカザフスタン大会への日本代表選考を兼ねる。 ・予選、本選及び国際大会への代表選抜試験で構成される。(ただし代表選抜試験は高校2年生以下のみ参加可) ・予選は、理論問題により、約80名で行う本選に進む者を選抜。 ・本選は、8月に3泊4日の合宿形式で実験試験と理論試験を実施。 ・表彰は、上位約10名に金賞、続く約10名に銀賞、続く約20名に銅賞。 ・当該生徒は金賞を受賞した。
対 象	20歳未満で、大学などの高等教育機関に入学する前の青少年
参加者数	予選: 3,255人(岡山県154人) 本選: 80人(岡山県2人)